



Keep the Lifeline.

ライフラインを、支える。

2024年9月7日(土)

# 個人投資家向け会社説明会資料



株式会社協和日成 <コード:1981>

協和日成ホームページ

<https://www.kyowa-nissei.co.jp/>



1.	当社の概要	.....	2
2.	現中期経営計画「STEP 2024」の進捗について	.....	23
3.	株主還元	.....	31
	参考資料	.....	34

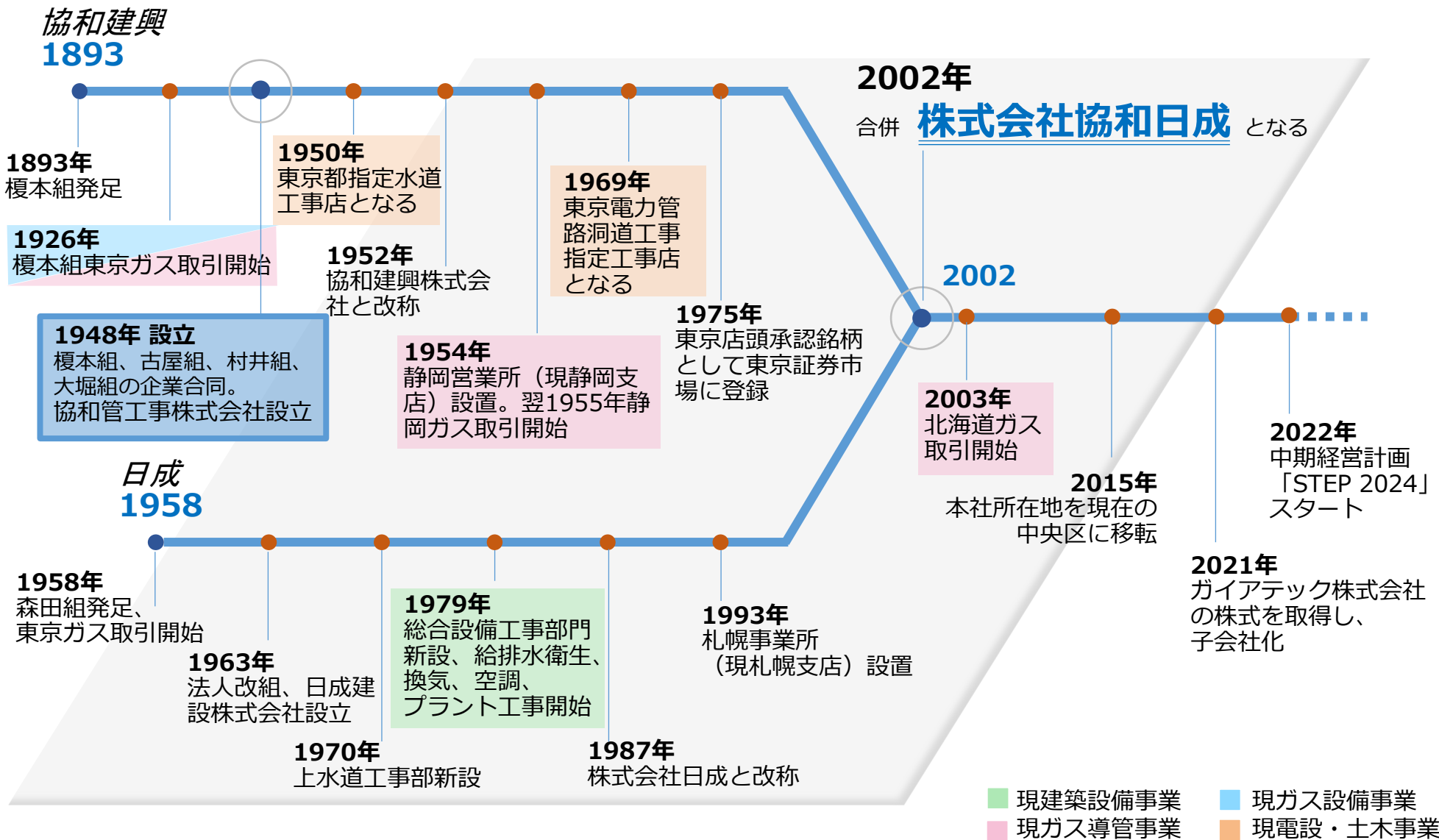
# 1. 当社の概要

*Keep the Lifeline.*

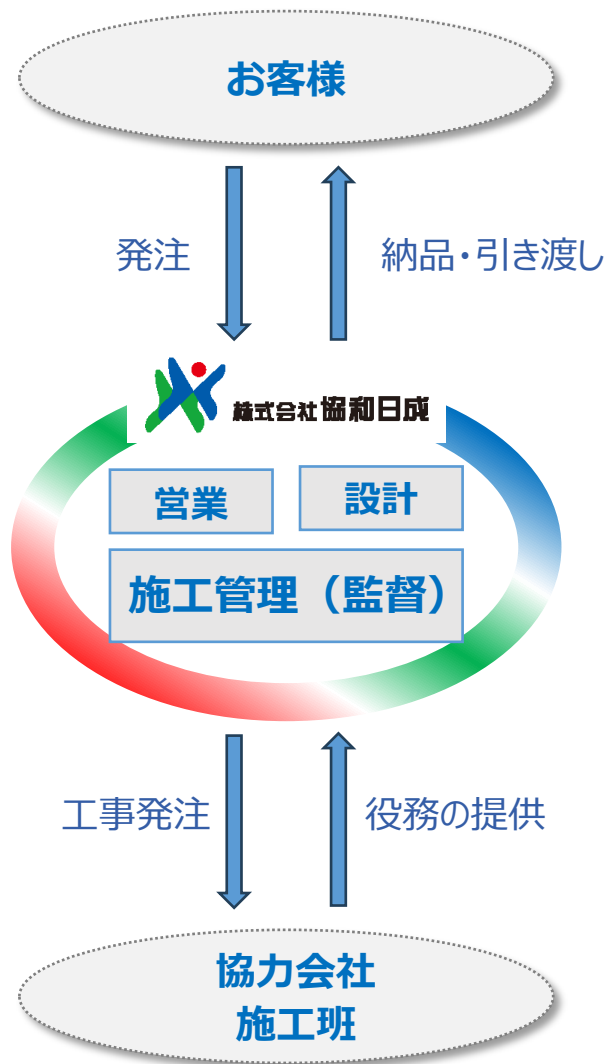
# 会社概要

商号	株式会社協和日成	 <p>環境と技術力、情熱とエネルギー、 そして人、を表した コーポレートシンボル</p>
設立	1948年（昭和23年）9月15日	
所在地	〒104-0042 東京都中央区入船3-8-5	
資本金	5億9千万円	
株式	東京証券取引所スタンダード市場<コード:1981>	
代表者	代表取締役社長 川野 茂	
建設業の許可	管工事業、土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、石工事業、電気工事業、舗装工事業、内装仕上工事業、機械器具設置工事業、水道施設工事業、消防施設工事業、解体工事業	
従業員数	774名（2024年3月31日現在）	
売上高	358億円（2024年3月期）	
グループ会社	3社（2024年3月31日現在）	

# 当社のあゆみ 沿革



# 事業概要 ～協和日成の主な業務



## 施工管理（監督）

工事のマネジメントを担当する技術者。管工事施工管理技士など。



# 事業概要 ～協和日成はこんなところで活動 1/2



社会の様々な  
ライフラインを  
支えます

建築設備

ガス設備

ガス導管

電設・土木



# 事業概要 ～協和日成はこんなところで活動 2/2

建物内では・・・

## ガス設備

ガスの配管設備、  
発電システムの設計・  
施工をワンストップで



## 建築設備

マンション、ビル等の  
空気調和・衛生設備工  
事を行い、より快適な  
空間に



建物外では・・・

## ガス導管

都市の地下にあるガス  
導管の工事や調査、ガ  
ス漏れ時などの緊急出  
動まで



## 電設・土木

より住みやすい都市の  
ための、管路埋設工事、  
上水道工事、イリゲー  
ション工事※1など



※1) ゴルフ場の散水設備やクラブハウスの設備工事



# 事業内容 ～ガスが届くまで

ガスが  
届くまで

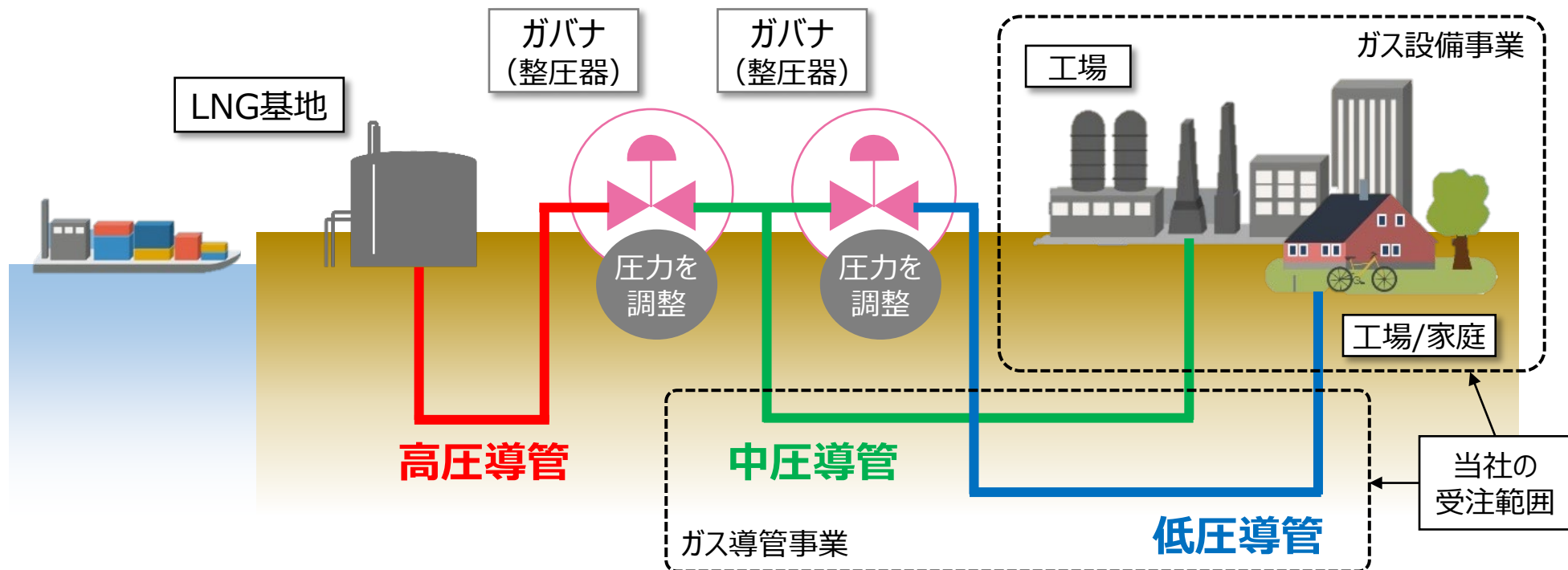
ガス導管事業・・・都市ガスをお客様の敷地まで届ける「ガス導管」の工事

ガス設備事業・・・敷地内のガス配管・機器設置工事

製造段階

供給段階

消費段階



# 事業内容 ①ガス設備事業について 1/2

## ガス設備事業

主な施工場所

戸建住宅

集合住宅

学校・福祉施設

商業施設

### ガス設備工事

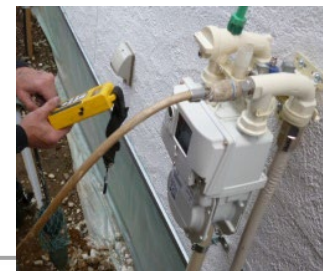


### 戸建イメージ

■ = ガスの配管



コンロ 点火試験



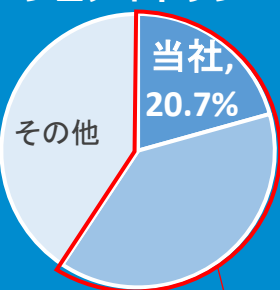
ガス管土中埋設配管

東京ガス管内年間  
メーター取付数

約35,000個

(シェア率 約17%)

うち、戸建住宅での  
シェア率トップ



大手6社

# 事業内容 ②ガス設備事業について 2/2

## ガス設備事業

主な施工場所

戸建住宅

集合住宅

学校・福祉施設

商業施設

### 暖房給湯・ 空調設備工事

戸建住宅のTES(TOKYO GAS ECO SYSTEM/ガス給湯暖房)工事。エネファームなどのガス機器設置工事など。



**エネファーム**  
(家庭用燃料電池  
コージェネレーションシステム)



### 床暖房 (TES)



【エネファームのシステムイメージ】



### 乾太くん (ガス衣類乾燥機)



### LCS工事・電気工事

戸建住宅の給排水設備工事および電気工事。



給湯配管



排水配管

### 太陽電池・燃料電池・蓄電池 システム工事

省エネ機器、発電、蓄電およびシステム制御。住宅、小規模施設の発電、蓄電池等のシステム設計。災害時の停電対策に関する設備の提案・設計・施工管理・メンテナンスまで。

# 事業内容 ②ガス導管事業について

## ガス導管事業

主な施工場所

地中

### ガス導管工事

**ガス管の漏洩防止と耐震化：**

土中の水分で腐食せず、  
地震に強い柔軟性のある

**ポリエチレン管**に入れ替える工事

※ガス導管が届いていないお客様の敷地まで導管を埋設する工事である“**ガス管の延伸**”もおこなう。

ポリエチレン管は

ひっぱり強く、地震に強い



大口径導管溶接工事



### メンテナンス

#### 【ガス導管修理工事】

ガスの本管・支管に関わる  
修理工事

#### 【ガス漏れ緊急出動】

ガスの本管・支管に発生するガス漏れに  
関わる緊急調査・修理。24時間365日、  
出動に備えて待機



導管分岐部工事



# 事業内容 ③ 建築設備事業について

## 建築設備事業

主な施工場所

集合住宅

工場

学校・福祉施設

商業施設

### <集合住宅における施工範囲>

- 給水... ●—●
  - 給湯... ▲—▲
  - 床暖... ○—○
  - 排水... ●—●
  - 換気... ◆—◆
  - 空調... —
  - 消火... —
  - ガス... ■—■
- (当社ガス設備事業が施工)

キッチン



シンク下



風呂・洗面所



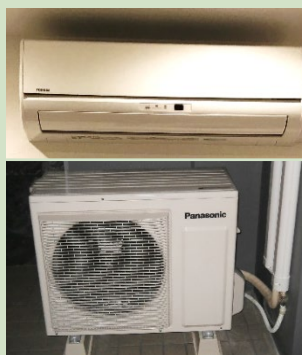
洗濯パン



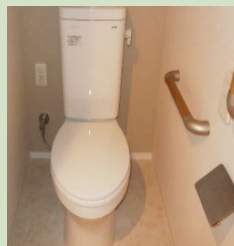
消火栓



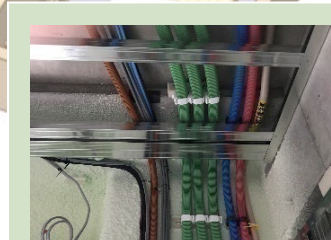
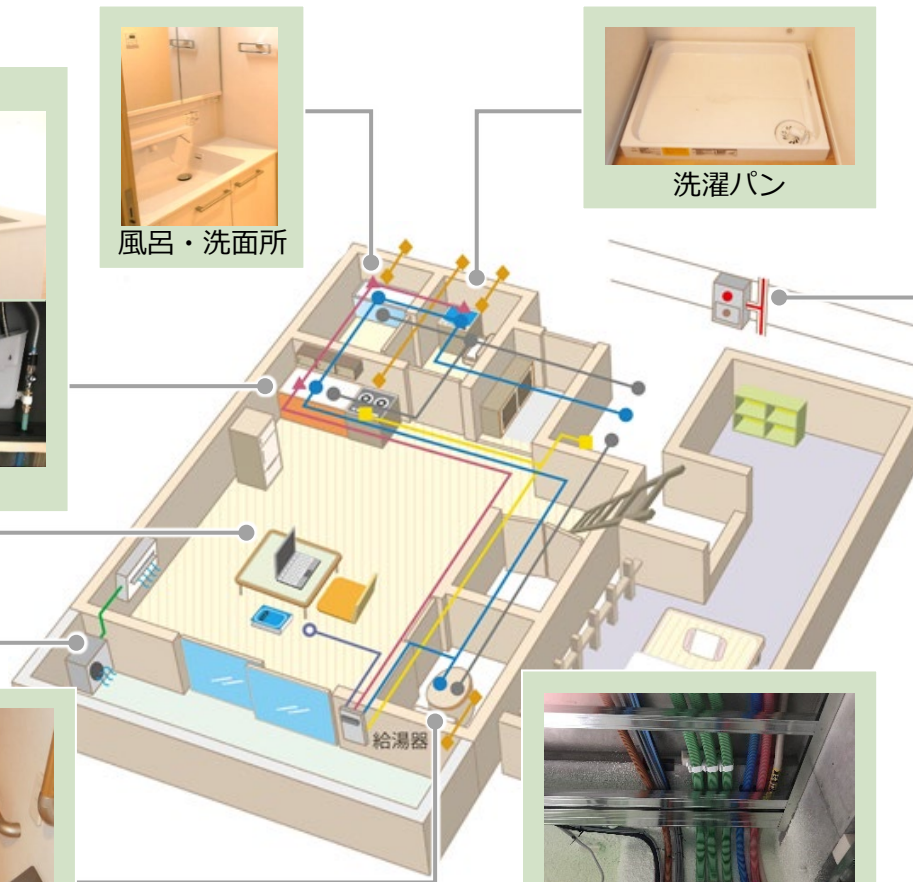
床暖房 (TES)



エアコン・室外機



トイレ



天井裏の配管

### 【その他の設備工事】

- ・ 厨房設備工事
- ・ 工場プラント工事
- ・ GHP (ガスヒートポンプエアコン) 工事

### 【メンテナンス】

- ・ GHPメンテナンス工事
- ・ 給排水管の耐用年数をアップする工事

給水管  
⇒ NPL-Ⅲ工法

排水管  
⇒ DREAM工法

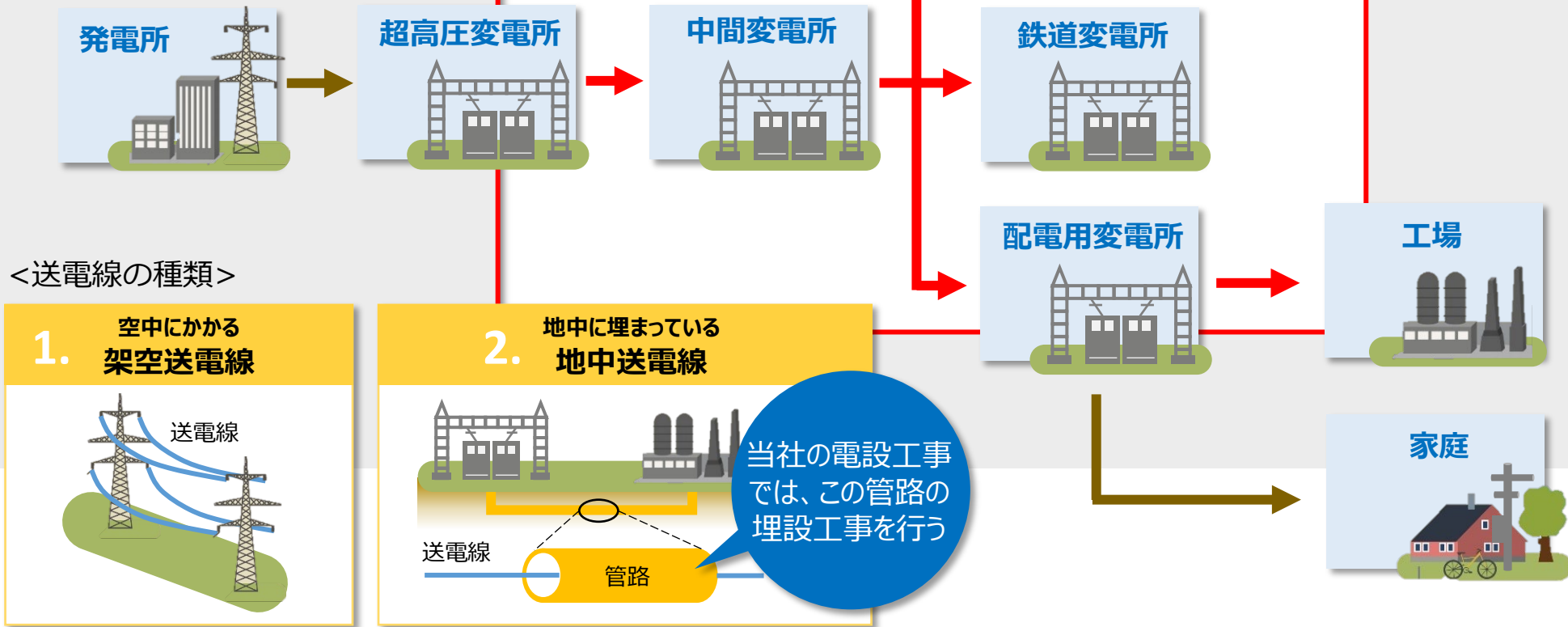
樹脂でコーティング▶



# 事業内容 ④電設・土木事業について 1/2

電気が届くまで

当社が受注する  
地中送電線の範囲  
(電設工事・メンテナンス)





# 事業内容 ④電設・土木事業について 2/2

## 電設・土木事業

主な施工場所

地中

ゴルフ場

### 電設工事・メンテナンス

地中送電線（ケーブル）を通すための管路埋設工事、マンホールの地中建設工事、点検・補修工事



管路地中埋設工事



洞道地中建設工事



マンホール高さ調整工事

### 一般土木工事

上水道工事、道路舗装工事 など



上水道入替工事



道路舗装工事

### イリゲーション工事

ゴルフ場の散水設備、クラブハウスの設備工事



ゴルフ場コース スプリンクラー取替工事



クラブハウス浴室  
シャワー水栓取替工事



# 大規模災害時における復旧活動

災害発生時の二次災害防止と早期復旧のため、発注者との覚書を締結。

災害発生時には復旧支援隊を派遣。

## 災害派遣実績

延べ人数（当社施工管理者と協力会社の派遣人数×稼働日数）

		都市ガス 導管	都市ガス 内管※1	水道 (復旧・給 水応援)	プロパン	仮設住宅	合計
1995年	阪神淡路大震災復旧支援※2	約 30,000			-	-	約30,000
2004年	三宅島復興工事	-	-	-	314	-	314
2004年	新潟県中越地震復旧支援	2,223	(NoData)	-	-	-	2,223
2007年	新潟県中越沖地震復旧支援	3,461	1,440	-	-	-	4,901
2011年	東日本大震災復旧支援 (日立、石巻、仙台、千葉など 複数エリア)	4,486	1,337	-	-	108	5,931
2016年	熊本地震復旧支援	1,254	180	-	-	-	1,434
2018年	大阪府北部地震復旧支援	494	76	-	-	-	570
2018年	北海道胆振東部地震復旧支援	75	14	24	-	-	113
2024年	能登半島地震復旧支援	-	-	36	-	-	36

- ※1) お客様の敷地内に設置されたガス管（ガス設備配管）のこと  
 ※2) 旧協和建興および旧日成の合計延べ人数。一部推計値を含む。



熊本地震 復旧隊全体ミーティング



大阪北部地震 作業指示風景



東日本大震災 導管復旧工事

確かな技術力



様々な  
ガス事業者から  
の高い信頼



幅広い  
顧客チャネル

安定した事業基盤

# 強み ① 確かな技術力 1/3

建物内の**ガス設備工事**

都市の地中に張り巡らされた**ガス導管工事**

## 70年以上の歴史の中で培われた技術力

あらゆる視点から人々の生活を支える幅広い事業を展開

空調設備  
工事

給排水  
衛生設備  
工事

電路洞道  
工事

水道工事

# 強み ① 確かな技術力 2/3 超高層マンション施工事例

1,000戸を超える超高層マンション施工実績  
～「パークタワー晴海」におけるガス設備工事で示した高い技術力～



概要	内容
工事名称	(仮称)中央区晴海二丁目計画 (パークタワー晴海)
建物構造	<b>超高層建物・免震構造</b> 地下1階／地上48階 建物高さ169.99m
ガス設備概要	<b>最大口径：300A</b> 緊急遮断弁・免震継手設置あり <b>ガスメーター数：1,084戸</b> 配管総延長：28,838m

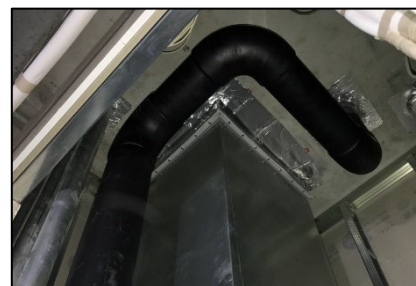
設計・施工の  
高度な知識&技術



協力会社の  
高度な技能

- 超高層建物用ガス耐震設計
- 長期的な地盤沈下対策と液状化対策
- 標準外設置での免震接手施工

など



地震等による配管伸縮を  
抑える可とう配管



地盤沈下対策&液状化対策として  
採用した大口径のPE管敷設作業

現在、更に規模の大きい「グランドシティタワー月島（地下2階/地上58階）※1」を施工中

※1 完成すると、1997年以降に東京都中央区で販売されたタワーマンションの中で、最も高いマンションになる（不動産データバンクカンパニー調べ）



# 強み ① 確かな技術力 3/3 管路埋設工事の事例

## 当社の施工管理技術×協力企業の専門技能で適正な施工を確保

### 監督者



当社の監督者は、様々な現場特性から、施工計画（施工方法、工程、安全対策、環境対策など）を立案

施工方法として、**小口径推進工法** を選択

### 現場の特性

#### 【自然特性】

- ・地形（高低差等）
- ・地質（土質、湧水等）
- ・気象（気温、降水量等）
- ・海象（河川流況、潮位等）

#### 【立地条件】

- ・施設（病院、警察署等）
- ・環境（交通量、近隣等）
- ・輸送（搬入経路、規制等）
- ・支障物（地下埋設物等）
- ・用地（境界、置場等） など

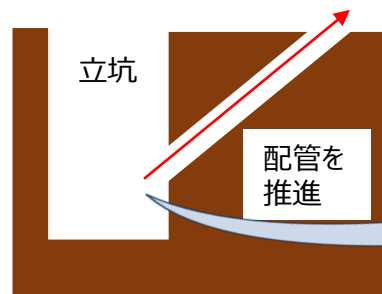
## 小口径推進工法

- 立坑から推進機によって配管を推進させる工法
- 掘削困難な場所にも管を敷設可能
- 立坑以外掘削する必要がないため、掘削土、埋め戻し土を最小限にできる環境に配慮した工法
- 開削工法に比べて工期短縮

### 施工班



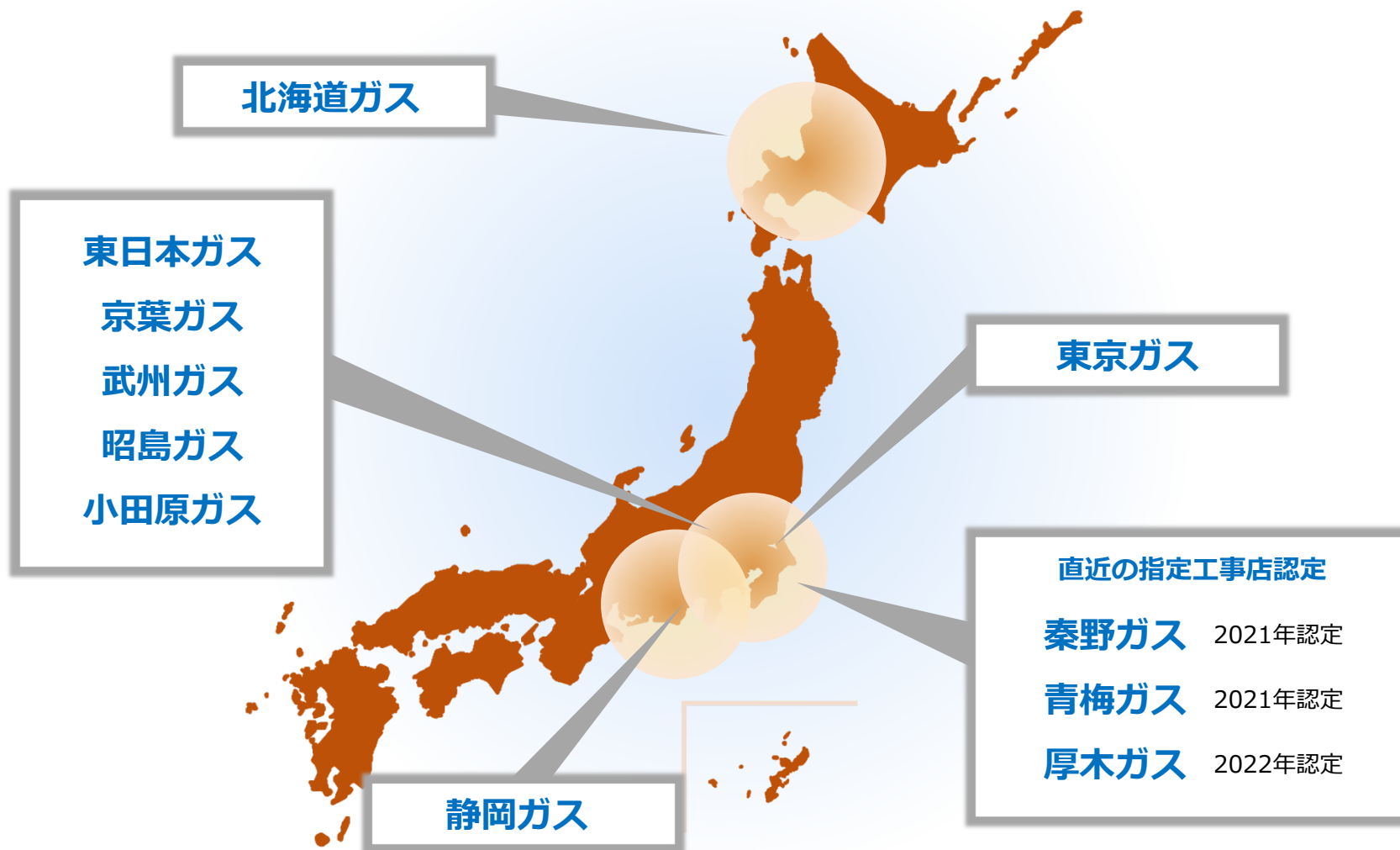
- 推進機の前進・後退・回転操作により、管先端の抵抗をコントロールして軌道を確認





## 強み ② 様々なガス事業者からの高い信頼

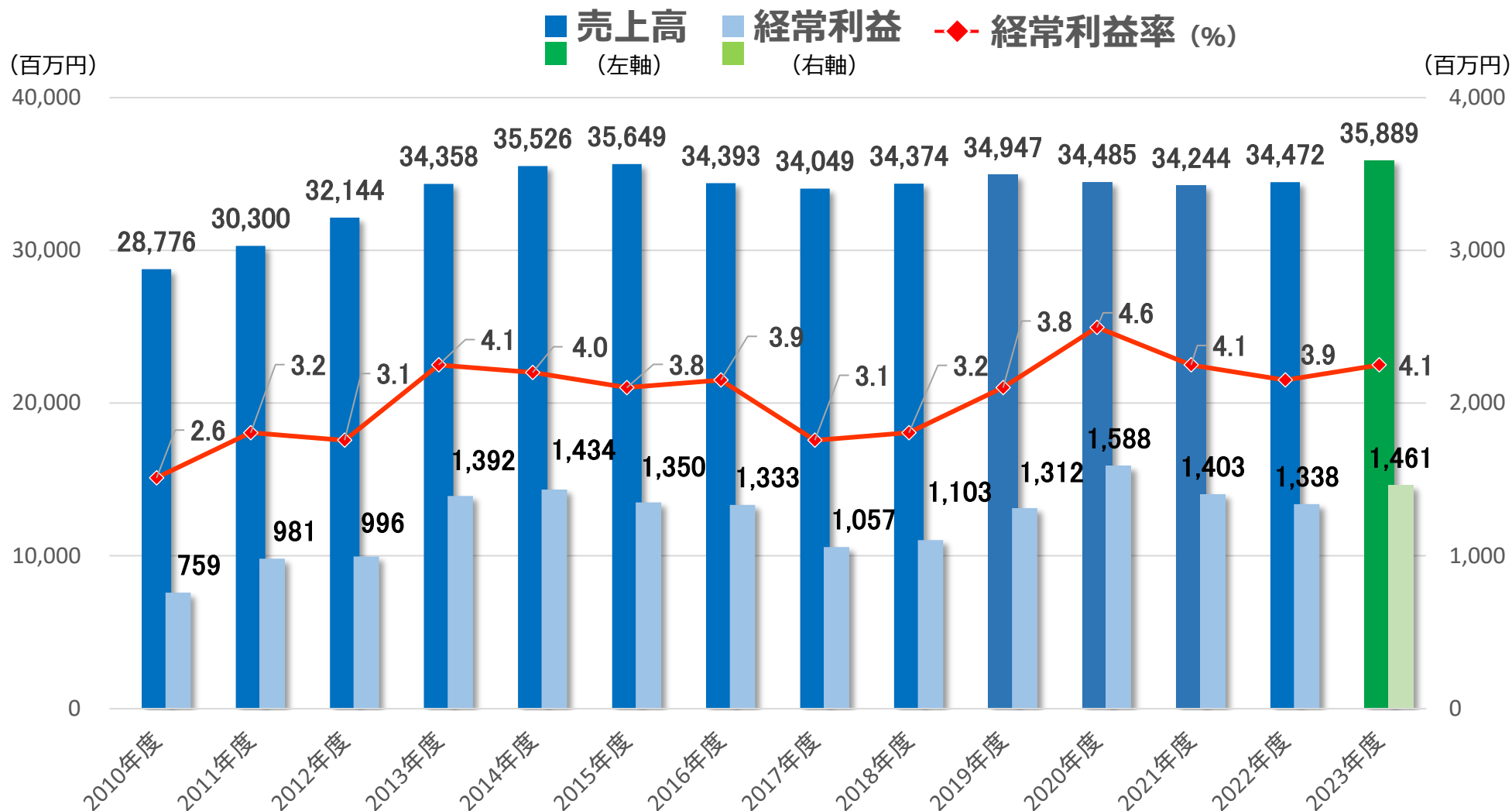
2024年現在、11社のガス事業者から指定工事店として認定



# 強み ③ 当社の顧客チャネル



# 当社のあゆみ ～業績推移～



## 2. 現中期経営計画 「STEP 2024」の進捗について

<2022年度～2024年度>

*Keep the Lifeline.*

## 「STEP 2024」 (Sustainable Evolution Plan)

### サステナビリティ基本方針

協和日成グループは、お客様に安心と心地よさを提供し、豊かな未来のためにライフラインを支えるという事業活動を通じて、社会的存在価値及び企業価値の増大を図り、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

### 5つの重要施策

事業戦略

株主還元の  
強化

CSRの  
推進

筋肉質な  
企業体質作り

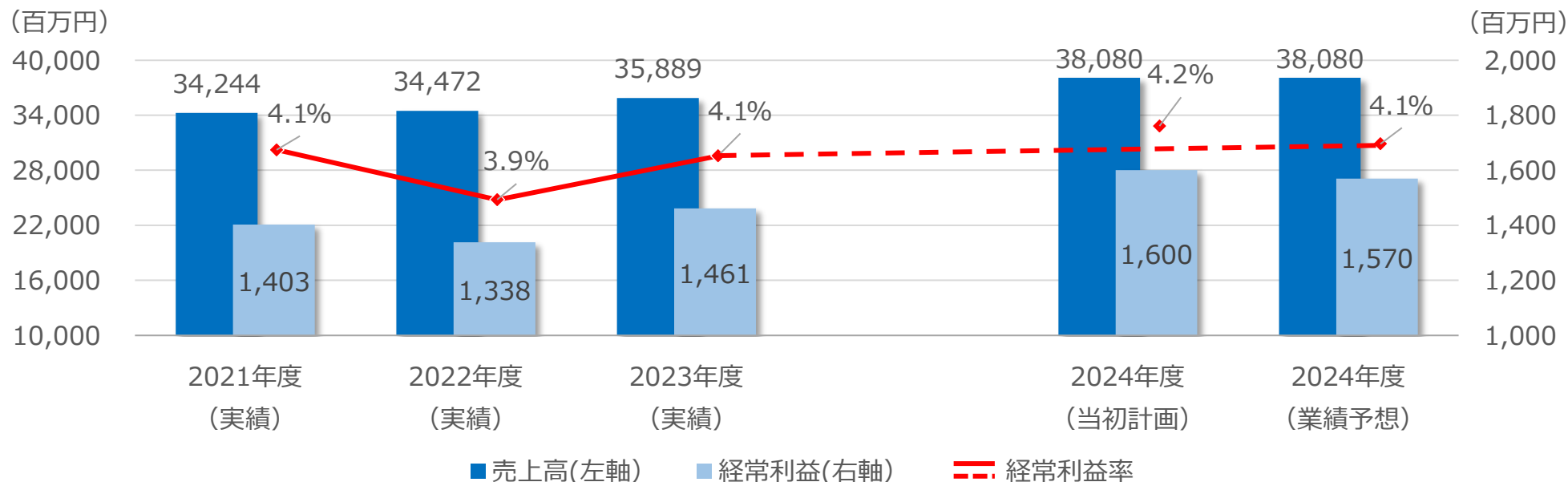
経営基盤  
強化

# 売上・利益計画

## (i) 全社

### 目標とする経営指標

企業の総合的な収益力を示す指標として、売上高経常利益率を採用。  
中計最終年度**4.0%**の達成を目指す。



- 2024年度も主要工種が堅調に推移する見込みのため、売上高は中計当初計画通りを見込む
- 一方、資機材高騰やベースアップの実施により、中計当初計画より経常利益予想は若干低下するものの、経常利益率4.0%の達成を目指す



# 売上・利益計画

## (ii)セグメント別売上計画 (単位: 百万円、カッコ内は売上構成比)

	2021年度 (実績)	中計2024年度 (当初計画)	中計2024年度 (23年6月修正)	2024年度 (業績予想)
売上高	34,244	38,080	38,080	38,080
建築設備事業 <sup>※1</sup>	6,027 (17.6%)	8,755 (23.0%)	8,355 修正額を他事業でカバー	8,240 (21.6%)
ガス設備事業	8,799 (25.7%)	9,965 (26.2%)	—	9,870 (25.9%)
ガス導管事業	17,557 (51.3%)	17,300 (45.4%)	—	17,910 (47.0%)
電設・土木事業	1,797 (5.2%)	2,000 (5.3%)	—	2,000 (5.3%)
その他 <sup>※2</sup>	60 (0.2%)	60 (0.2%)	—	60 (0.2%)
経常利益	1,403	1,600	1,600	1,570

※1) 2022年度より、従来「ガス設備事業」に含めていた一部工程を「建築設備事業」の区分に含めることに変更しております。  
また、財務報告上は「ガス設備事業」に区分している戸建住宅の給排水設備工事および電気工事を含んでおります。

※2) 工材販売手数料等の表示区分調整額

## 事業戦略の基本方針

持続的に発展、成長するために、既存の事業領域に加えて、「建築設備事業」を中核事業の一つに育てあげる。特に新築設備工事分野に経営資源を重点投入する。

### <建築設備事業の内容>

#### 新築

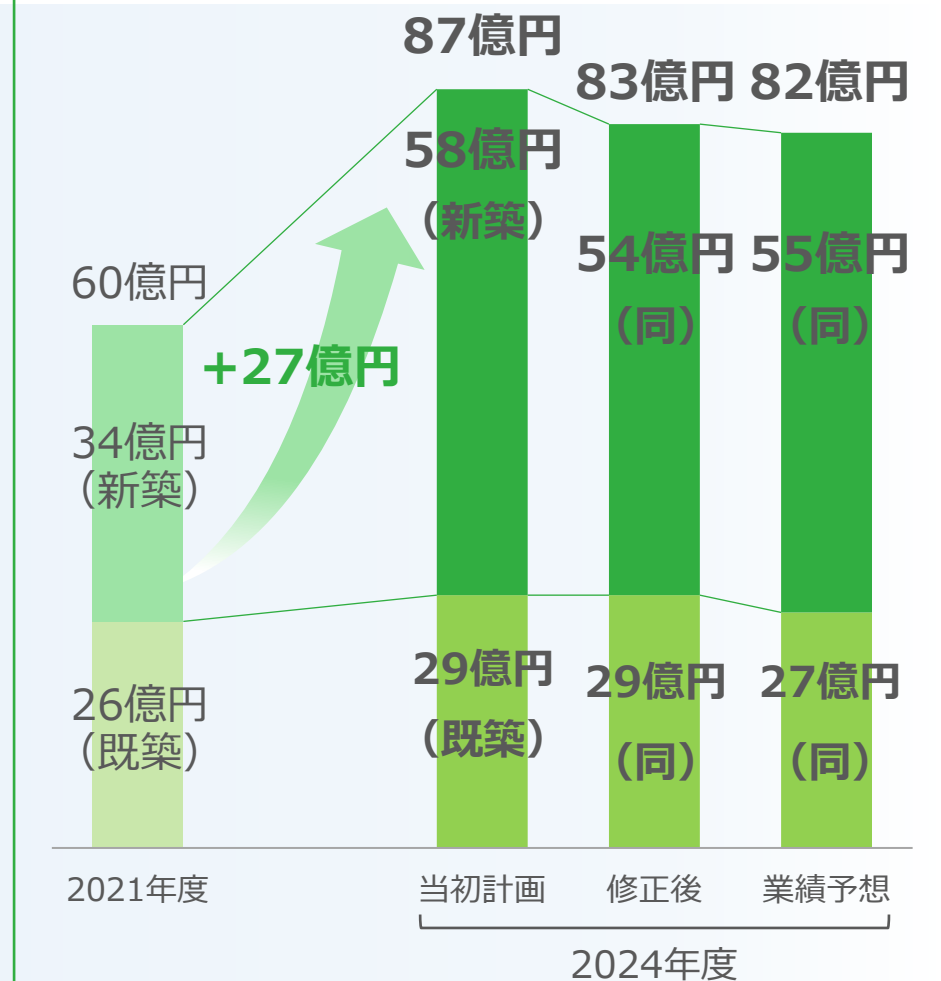
- ・新築マンション・施設系建物の給排水衛生設備・空調設備工事等
- ・新築マンションの給湯・暖房工事
- ・新築戸建住宅の給排水設備・電気工事

#### 既築

- ・リノベーション工事（排水管更生工事を含む改修工事）
- ・工場施設関連の営繕工事
- ・GHP工事

※1) 2022年度より、従来「ガス設備事業」に含めていた一部工種を「建築設備事業」の区分に含めることに変更しております。また、財務報告上は「ガス設備事業」に区分している戸建住宅の給排水設備工事および電気工事を含んでおります。

### 建築設備事業※1の売上計画



## (i) 建築設備事業成長に向けた取り組みの進捗状況

### 取り組み施策の概要

#### 一括受注体制に向けた施工体制の整備

- 施工管理者の育成
- 建物の構造別にチーム体制を整え、一人当たりの生産性を向上
- 建築設備工事に従事する施工管理者の増強

#### 以下工種の同時受注をより多く獲得

① ガス工事

② 給排水衛生設備工事

③ 給湯暖房工事

④ 空調工事

⑤ 電気工事

### 進捗状況

分野	項目	進捗状況	評価
集合 (給排水衛生設備)	営業体制の強化	● 民間は目標を大幅達成も、官公庁物件が伸び悩み、新設分野の合算目標は未達。リノベーションなど既築分野で新設のマイナスをカバー	○
	施工体制の強化	● 効率的な施工実現のためチーム制は導入も、中途採用進まず施工管理者の増強には課題	△
戸建 (給排水設備)	神奈川エリアでの拡大	● 給排水設備/電気工事の施工体制構築で新規協力会社4社増	○
戸建 (電気工事)	電気工事の受注・ 施工体制強化	● 給排水+TES+電気の同時受注新規取引先を3社獲得	

# 事業戦略

## (ii) 多機能化の推進

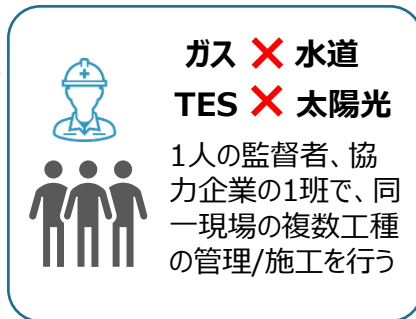
### 多機能化イメージ



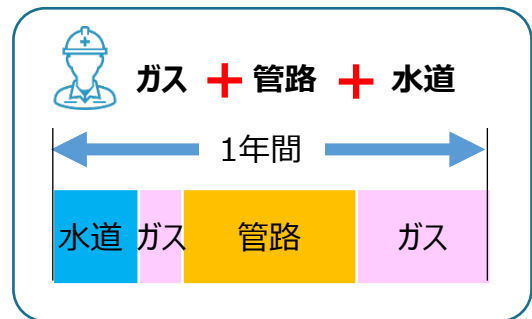
目指す姿



① 親和性の高い  
複数工種の同時施工



② 需要に応じて時期によって異なる工種の施工管理を担当



### 取組例①

#### LCS × ガス設備

発注者

工程連絡  
窓口1本化

LCS 監督

工程情報の  
共有

ガス監督



将来像  
監督者1名での  
同時施工体制  
の実現

### 取組例②-1

#### ガス導管(静岡) + 水道工事

静岡市水道施設中長期更新計画  
(水道のレジリエンス強化)

受注

静岡ガス(株)  
水道事業参入

受注

静岡支店  
積極受注

資格取得と講習を経て  
施工班1.5班体制

将来像

水道組合加入による  
行政からの直接受注



### 取組例②-2

#### ガス導管(関東) + 電設土木工事

ガス導管監督・施工班における  
管路新設工事・撤去工事の経験蓄積

【2021年度～2023年度】  
ガス導管監督  
4名 延べ30ヶ月  
ガス導管協力企業  
3社 延べ17ヶ月

将来像

ガス導管事業と電設土木事業の機動的な人員シフトの実現



撤去ケーブル

# 3.CSRの推進

	取り組み内容	目標	2023年度進捗
E	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 環境商材の拡販</li> <li>b. ガソリン車、ディーゼル車以外の車両導入検討、車両のCO2排出量、電気使用量を分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 2025/3月期 環境商材<sup>※1</sup>500台/年を目指す</li> <li>b. 2025/3月期 CO2排出量10%削減（2022/3比） 2022/3 CO2排出量実績約174万kg 2023/3 CO2排出量実績約171万kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 環境商材<sup>※1</sup>700台の販売を達成 <input type="radio"/></li> <li>b. 車両CO2排出量、電気使用量分析を実施。またハイブリッド車の導入を実施 <input type="radio"/></li> </ul>
S	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 多様な働き方の実現（働きがいのある職場環境）</li> <li>b. CSR調達制度の導入（2022年4月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 男性主体業務への女性配員数の拡大（2021/3比40%増）を折り込んだ行動計画の策定、育児休業法改正に伴う制度整備</li> <li>b. CSR調達方針・ガイドラインの調達先との共有、アンケート等による現状把握と改善指導を実施し、グループとして社会的責任を果たす体制を作り上げる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 男性主体業務への女性配員数を拡大（2021/3比83.3%増、183.3%進捗）、エンゲージメントサーベイを実施 <input type="radio"/></li> <li>b. CSR調達方針・ガイドラインの調達先との共有、アンケート、個別ヒアリングを実施 <input type="radio"/></li> </ul>
G	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. コーポレートガバナンス・コード（CGC）への対応</li> <li>b. コンプライアンスの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. エクスプレイン項目（役員評価、評価に基づく報酬制度、選解任基準の策定、任意の指名・報酬委員会の設置ほか）、次期改訂CGCへの対応</li> <li>b. 年1度実施している全社的内部統制評価アンケートにおけるコンプライアンス関連の各指標5%改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 役員の評価制度と、評価に基づく報酬制度導入に向けた検討 <input type="radio"/></li> <li>b. 各指標5%改善を早期達成 <input type="radio"/></li> </ul>

※1) エネファーム、ハイブリット給湯器、太陽光発電、蓄電池

# 3. 株主還元

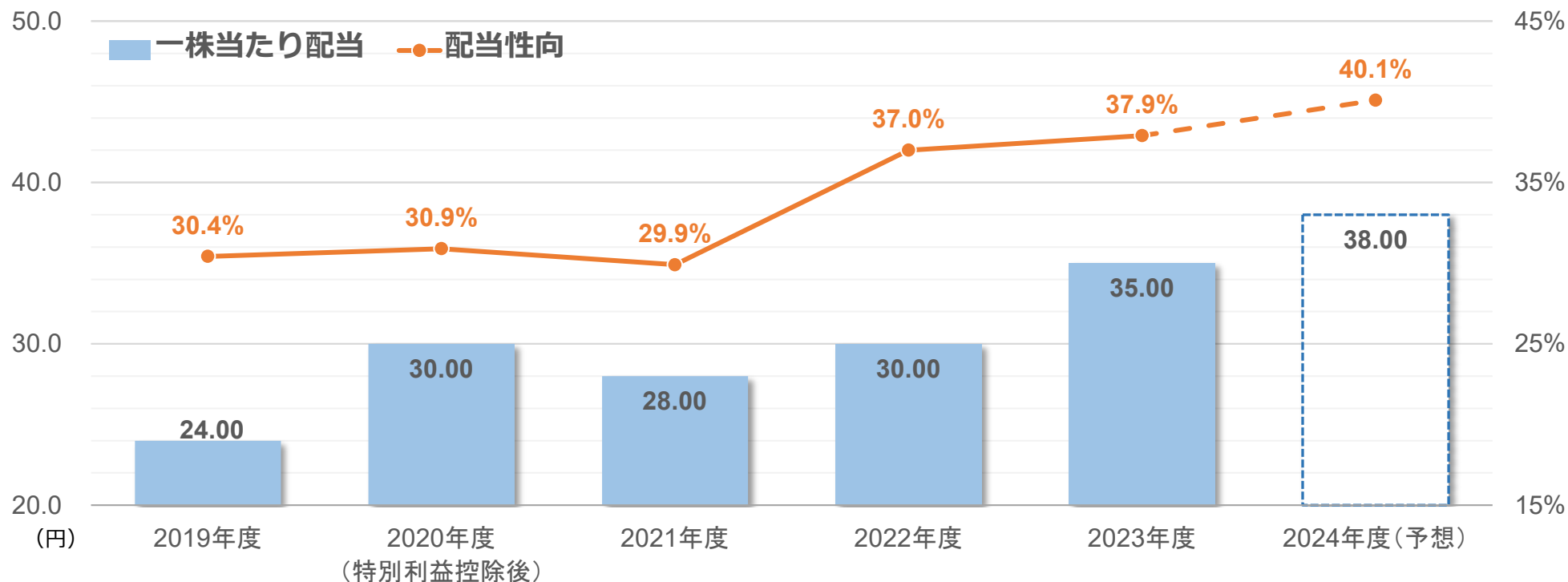
*Keep the Lifeline.*



# 株主還元強化

## 配当方針（2022年5月改定）

- 経営基盤の強化に留意しつつ、当期の業績ならびに経営環境や今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案し、長期的かつ安定的な配当を維持・向上することを基本とする
- 業績に応じた配当を検討する上で、**2024年度に配当性向40%を達成することを目標**に、30%からの引き上げを図る
- 非日常的な特殊要因により当期純利益が大きく変動する場合は、その影響を除いて配当金額を決定することがある



# 株主還元シミュレーション

## 株主還元シミュレーション

**1株当たり年間配当額**

**38.00円** (2024年度予想)

**株価**

**1,340円** (9/3終値)

**単元株**

**100株**

**概算投資金額 (1単元)**

**1,340円×100株 ÷ 134,000円**

## 配当利回り

**年間配当額**

**38.00円**

**配当利回り**

**38円/ 1,340円 ÷ 2.8%**

※予想配当利回りについては税引前の金額を対象

※ご購入の際に必要な、証券会社売買手数料等は含んでいません

※株式ご購入の際手数料等については、お取引の証券会社にお問い合わせください

# <参考資料>

*Keep the Lifeline.*

# 企業スローガン/企業理念/企業ビジョン

## 企業スローガン

私たちは常に進化する強い意志を持ち、  
心一つにして一流に向かい羽ばたき続けます。

## 企業理念

### 存在意義

豊かな暮らしのために

### 経営姿勢

お客様から選ばれ  
続けるために

### 行動規範

羽ばたき続けるために

## 企業ビジョン

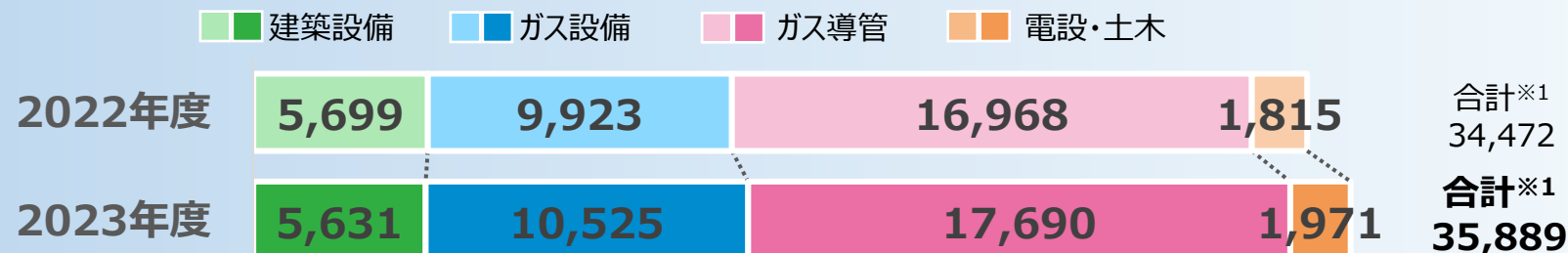
たゆまぬ研鑽を行い、優れた人間力と高い現場力でサービスを  
提供する真の総合設備工事会社を目指します。

# 2023年度の業績 損益計算書（要約）

- 売上高は前期比4.1%増加し、ガス導管事業と電設・土木事業において利益率の高い物件の完成が多かったこと等により前期比増益となった

(百万円)	2023年度 実績	2022年度	2022年度比		2023年度 予想	予想比	
			(金額)	(%)		(金額)	(%)
売上高	35,889	34,472	+1,417	+4.1%	35,470	+419	+1.2%
営業利益	1,247	1,141	+105	+9.3%	1,120	+127	+11.3%
経常利益	1,461	1,338	+123	+9.2%	1,270	+191	+15.0%
当期純利益	1,062	933	+128	+13.8%	910	+152	+16.7%
【参考】 期初手持工事高	17,567	17,006	+561	+3.3%	-	-	-

## 【セグメント別売上高】 (百万円)



※1) 合計金額には外部顧客に対する工材販売手数料等の金額（2022年度64百万円、2023年度70百万円）を含めております

# 2023年度の業績 貸借対照表（要約）

(百万円)	2022年度末	2023年度末	前期比
<b>資産の部</b>			
流動資産	16,945	18,197	1,251
固定資産	9,444	10,448	1,004
有形固定資産	5,787	6,237	449
無形固定資産	63	234	170
投資その他の資産	3,592	3,977	384
資産合計	26,390	28,645	2,255
<b>負債の部</b>			
流動負債	8,278	9,395	1,116
固定負債	471	453	▲18
負債合計	8,750	9,848	1,098
<b>資産の部</b>			
株主資本	17,213	17,930	717
評価・換算差額等	426	867	440
純資産合計	17,639	18,797	1,157
負債純資産合計	26,390	28,645	2,255

## 【主なポイント】

- 流動資産
  - 現金及び預金 +299百万円
  - 電子記録債権 +398百万円
  - 未成工事支出金 +410百万円
- 固定資産
  - 有形固定資産 +449百万円
  - 無形固定資産 +170百万円
  - 投資その他の資産 +384百万円
- 流動負債
  - 工事未払金 +297百万円
  - 未払費用 +162百万円
  - 未払法人税等 +197百万円
  - 未成工事受入金 +301百万円
  - 賞与引当金 +142百万円
- 固定負債
  - 退職給付引当金 ▲53百万円
- 純資産
  - 利益剰余金 ▲345百万円
  - その他有価証券評価差額金 +440百万円



# 中計重要施策 筋肉質な企業体質作り 2023年度進捗

	取り組み内容	2023年度進捗	
全社	<b>業務改革の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現場監督（施工）・営業・事務関連等、既存業務の内容・量を見える化し、ワークフローの見直しやデジタル技術の導入等で業務の効率化を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● GHPメンテナンス部品の在庫管理システムなどを導入</li> <li>● 施工管理支援や請負通帳・発注業務は新基幹システムと連動検討のため未完成</li> </ul>	△
	<b>リモートワーク環境の構築強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● セキュリティ等、システム・インフラの強化、およびルールの整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リモートワーク実施のためのインフラ強化、全社員への情報セキュリティ教育の強化</li> </ul>	○
	<b>基幹システムの刷新</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 業務処理効率向上</li> <li>● 法改正への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2025/4導入に向け、開発の要件定義、システム設計を完了</li> </ul>	○
部門固有	<b>ガス導管事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本部内にCADセンターを設置し、内製化を図り委託業務費を削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中計最終年度委託業務費の削減に向け、CADセンター人員を育成</li> </ul>	○
	<b>ガス導管事業/電設・土木事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ウェアラブルカメラを用いて、業務効率化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ガス導管事業／遠隔現場巡回の実施拡大</li> <li>● 電設土木事業／若手や高難度現場における遠隔サポート等に活用、施工管理者の遠隔臨場への活用拡大は計画未達</li> </ul>	○

# 中計重要施策 経営基盤強化 取り組みトピックス

	取り組み内容	2023年度トピックス
<b>戦略的M&amp;Aの実施</b>	① M&Aを視野に入れた施工体制の検討	① 戸建給排水設備、電気工事拡大のため、協力会社4社と新規取引（前年度と合算し10社増）
<b>従業員の心と身体への健康づくり</b>	① 従業員の「心と身体への健康づくり計画」の実施	① 「金の認定 <sup>※1</sup> 」の継続取得(P42を参照)
<b>東証市場構造改革を踏まえた取り組み</b>	① 流通株式比率向上へ向けた施策の検討 ② 継続的なIR活動	① 従業員に対する株式給付信託（J-ESOP）を導入、流動性向上を図る目的で立会外分売を実施 ② 機関投資家、個人投資家向け説明会の継続開催。投資家向け雑誌への広告記事掲載などを実施

※1) 健康優良企業認定制度のステップ2。  
 東京都において「健康企業宣言」を行った3790社のうち、STEP1「銀の認定」を経て、STEP2「金の認定」を取得した企業は133社と3.5%（2024年5月現在健保連東京連合会HPより）

# 2024年度 損益の見通しおよび配当予想

(百万円)	2023年度	2024年度 予想	前期比	
			(金額)	(%)
売上高	35,889	38,080	+2,191	+6.1%
営業利益	1,247	1,350	+103	+8.3%
経常利益	1,461	1,570	+109	+7.5%
当期純利益	1,062	1,090	+28	+2.6%
一株当たり配当金 (配当性向)	35円 (37.9%)	38円 (40.1%)	+3 (+2.2pt)	+8.6%
【参考】 期初手持工事高	17,567	19,040	+1,473	+8.4%

- ごく一部の工種において、若干、労務単価、資材価格高騰の影響を見込むが、主要工種が堅調に推移する見込みのため、前期比増益を計画

# 技術力の維持向上

## 協和日成の 施工管理能力向上

## 協力会社との連携 教育・経営支援

### 公的資格の取得推奨

- 資格取得奨励金制度
- 資格取得のための事前研修

<公的資格の取得者数（管理部門除く）>

施工管理技士

367名

その他の公的資格

252名

その他の公的資格は、建築士、給水装置主任技術者、電気工事士、消防設備士 等

### 各種講習・教育の充実

- 大和研修センターでの研修
- 通信教育講座での教育機会
- 現場巡回指導の実施



大和研修センター



ポリエチレン  
管融着



鋳鉄管穿孔

### 協力会社との連携強化

- ヒアリングや技術力の評価等を実施
- CSR調達制度の運用

協力会加入数

約230社

施工班数

約400班

作業員数

約1,500名

CSR調達とは、企業がサプライチェーン全体で社会的責任を果たすことを目指す活動



# まちで見かける協和日成の現場 ガス工事の安全対策

ガス事業者の作業基準を遵守し、安全を最優先に施工管理を行っています

## <工事の流れ>

- 作業帯を設置  
資機材搬入
- 作業前MTG  
(危険予知活動)
- 道路掘削
- 配管埋設、接続
- 埋め戻し (仮復旧)

### ▼作業準備、ヨシ



### ▼山留め、ヨシ



### ▼ガス管接続状況、ヨシ



### ▼仮復旧状況、ヨシ



## 従業員の「心と身体健康づくり」

大切な「人財」が心身ともに健やかに  
生き生きと働ける環境を創る

- 2019年の健康企業宣言ののち、健康優良企業認定制度のSTEP1「銀の認定」を経て、2023年3月30日、STEP2「金の認定」を取得
- 主な取り組み
  - ・健康診断、婦人生活習慣病検診等の受診勧奨
  - ・健康管理システムの導入
  - ・再検査対象者への産業医による声掛け
  - ・オンライン特定保健指導の導入
  - ・メンタルヘルスの体験カウンセリングの実施
  - ・有休取得奨励日の設定

など





本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社協和日成 企画室

電話 : 03-6328-5662

メール : [ir@kyowa-nissei.co.jp](mailto:ir@kyowa-nissei.co.jp)